

朗読アンサンブル 京・Genji 音楽と所作のある朗読劇

「紫式部といふものありけり」

源氏物語は光源氏の物語ではない。これは紫式部という女性の物語である。
物語を読みすすんでいるうちに、物語に登場する女性たちが光源氏という主人公の姿を

際立たせるためではなく、紫式部という女性の分身として

見えてきたのである。やがて光源氏の姿は消え、

そこには一人の確固とした人間として存在している

紫式部の姿があった。(河合隼雄『紫マンガ』より)

紫式部は、なぜ『源氏物語』を書いたのでしょうか。
自らの内面を見つめるうちに、

そこに様々な女性が存在することに気づいた

紫式部は、内なる女性の分身である

女君たちの物語を書くことを思い立ちます。

彼女たちの心の声を引き出す役目を光源氏に与えて、

紫式部の『源氏物語』は始まります。

表面的な幸せと心の奥にある苦悩とのはさまで葛藤しながらも、
生きる道求め続ける女君たち。

当代一の貴婦人でありながら、夫である東宮をなくし

身の置き所を失った六条御息所。

高い身分の家に生まれながら幼くして母を失い戻る場所のない紫の上。

そんな女君の心を描きながら、紫式部は書くことで

生きる意味を見出しているこうとする自分を知るのでした。

女君たちの切なくもいとおいしい物語、紫式部の物語を

平安の音色とともにお届けします。

原作：紫式部

原案：河合隼雄著『紫マンガ』

脚本：岡村玲子

演出・音楽：尾上和彦

オペラ 月の影―源氏物語―より

所作指導：茂山あきら

出演：朗読アンサンブル 京・Genji

岡田弘子 岡村玲子 角川佳代 高橋雅美 古阪繁子

音響：木田千賀子

朗読アンサンブル 京・Genji

京都市桂坂社会福祉協議会所属。朗読サークル「木もれ日Genji」として活動していましたが、2015年朗読サークル「木もれ日」より独立し、朗読アンサンブル 京・Genjiと改称。京都を中心に思い切った解釈で描くオリジナル脚本で、源氏物語朗読劇の公演を行ってきました。源氏物語の底に流れる人のこころ、自然との融合、命あるものへのいとおさを美しいことばで届けることに努めています。朗読と所作、音楽と照明による舞台で朗読の可能性を広げることを目指しています。

profile

西京区を中心に高齢者施設や催しでの公演をはじめ、京都府庁日本館・関西日仏学館・宇治市源氏物語ミュージアム・京都外国語大学・同志社大学・清涼寺・平等院・大原野神社他多数 神戸、福岡、大阪、奈良、滋賀でも公演。国民文化祭で「よみがえる源氏物語のこころ」(渉成園)を企画・主催(2012年)。府民ホールアルティ「河合隼雄没後七年追悼公演」(2014年)。「上賀茂神社第四十二回式年禮堂にて奉納公演」(2015年)。「西京区制40周年記念式典」(出演)(2016年)。石山寺秋月祭にて公演(2017年)。京都市立芸術大学・日本伝統音楽研究センターと共演予定(2018年)。

海外ではフランス・パリの国立大学Ecole Normale Supérieure (2009年)「フランス国立ギメ東洋美術館 アンジェカトリック大学(2013年)ロシア・サンクトペテルブルグで「京都府とロシア州友好提携20周年記念行事」(2014年)「イギリス・ロンドン大学」(全英日本学会)「フランス・カンヌ」(2015年)にて公演。公演は120回を超える。
朗読アンサンブル 京・Genji 090-5960-3119 komorebi_genji@yahoo.co.jp